

わきがに罪はない。

「汗のにおい」と「わきがのにおい」は、違う。

汗のにおいとわきがは、違います。

わきがは、鼻につんとくるにおいです。

目が覚めるようなにおいです。

「何てすごい激臭なのだろう。体を何日洗っていないのか」と思うでしょう。

なかにはわきがの人を責めている人までいるようです。

ここに誤解があります。

普通の汗を放置して、さらに悪化したにおいと思いますが、そうではありません。

「汗のにおい」と「わきが」は、別のにおいです。

そもそも、汗が出る場所が違います。

人の体から出る汗には、2種類あります。

「エクリン腺」と「アポクリン腺」です。

一般的にいう汗のにおいは、エクリン腺から出る汗のことです。

エクリン腺は、全身の至る所にあります。

1立方センチメートルあたり、およそ100個もあります。

全身で、およそ200万個から300万個にも及びます。

99パーセント以上が、水分です。

無色透明であり、ほぼ無臭です。

ただし、汗が出てほうっておくと、汗に雑菌などが繁殖して「汗のにおい」を放ち始めるのです。



一方、わきがは、アポクリン腺から出る汗が原因となる、においです。

エクリン腺から出る汗とは違い、もともと「においになる元」がたっぷり含まれています。

タンパク質、脂質、糖質、アンモニア、鉄分、ピルビン酸などです。

塩分を含んでいないため、皮膚がアルカリ性に傾きやすく、菌が繁殖しやすくなります。

アポクリン腺から出る汗にはにおいはありませんが、垢や皮脂が混じって雑菌が繁殖すると、強いにおいを発するようになります。

これが、わきがのにおいになるのです。

わきが体質の人は、体をきれいに洗っても、汗をかけば、普通の人以上ににおいが目立ちやすいのです。

わきがは、体質です。

特に黒人やアラブ圏の人たちは、アポクリン腺が多いのが特徴です。

体質上、アポクリン腺が多い人が、わきがになります。

アジア人より欧米人のほうが、身長が高い傾向があるのと同じです。

ただ人種的に、そうした体質があると言うだけの話です。

本人にも、わきがにも、罪はないのです。

わきがのにおいを消す方法 その1

わきがに対する誤解を解く。